

Leader's TOPICS

私の難病闘病考

自然環境部会 水産学博士 品川高儀



■介護とサービス

このところ介護とサービスの事業化が軒並み増えて来たように感じている。自身パーキンソン病患者として11年余を経過して進行期に入りつつある状態であること、背景にどのような状況が簡単に報告したい。2000年に介護保険法が定められ介護という言葉と制度が施行された。次いで様々な市場が開放されて、簡単に言えば、寝たきりの患者をケアする家族の働きは経済として成立しないが、近所の人によるサービスは介護のビジネスとして成立することになったからである。これに伴って介護用品の販売とリース、居宅介護支援、自宅で受けるサービス、通って受けるサービスなどがある。まだまだサービスの質や価格に事業化の色合いは、希薄であるが、資産家向け投資案件としてははっきりとした利益の上がる事業として宣伝も行われている。

中でもパーキンソン病は難病として知られ、平成24年度医療受給者証保持数から推計すると我が国には約108,800人のパーキンソン病患者がいると言われている。また70歳以上では100人に1人位の有病率になるだろうと言われている*。

■介護サービスの実態

その内容を、厚木市を事例にして紹介すると、厚木市内の人口は6月現在、22万4千人で、世帯数では10万2千所帯を超える。これと有病率から患者数としてパーキンソン病の患者の推定数は、336人を超えることになる。

厚木市における介護保険は、まだまだ顧客満足を獲得

◆厚木市内介護保険施設一覧

| 区分 | 事業所数 | 入所定員 |
|---------------------|------|------|
| 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 10 | 743 |
| 介護老人保健施設 | 7 | 629 |
| 特定施設入居者生活介護 | 9 | 595 |
| ショートステイ | 12 | 171 |

厚木市の介護サービス事業所数は48事業所、定員は2,138人

◆厚木市内地域密着型サービス事業所一覧

| 区分 | 事業所数 | 入所定員 |
|-----------------------|------|------|
| 地域密着型介護老人福祉施設 | 3 | 76 |
| 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) | 12 | 201 |
| 認知症対応型通所介護(認知デイ) | 3 | 27 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 1 | 29 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 1 | 171 |
| 地域密着型通所介護 | 35 | 446 |
| 住宅型有料老人ホーム | 25 | 674 |
| ケアハウス | 1 | 30 |
| サービス付き高齢者向け住宅 | 2 | 55 |

厚木市の地域型密着型サービスなどの事業所数は83、入居定員は2,238人

していない状況で、より密度の高い介護プログラムが作れないと苦勞して獲得した身体機能が無駄になるおそれもある。

■高齢者向けサービス

介護を求めている高齢者は、脳梗塞、パーキンソン病、脳血栓、認知症、骨粗鬆症、ALSなどの既往症があり、食事、排便、入浴、散歩等沢山の困難な克服メニューが用意されているが、なかなか満足できるまでのレベルを維持できるのは難しい。

また、生活環境に合わせた食生活の充実度は高いように感じるが、希望に充ちた日々を送るには、近隣に緑地帯があって自然観察、森林浴、森林ヨガなど、介護サービスには多様化や専門的素養も求められている。特に、県内のすぐれた緑地活用や遊歩道を利用した今までは学習姿勢の異なる自然理解を深めたいと考えている。

■新しいサービスの考え方

介護プログラムの設計に際しては、安全で安心して利用できる新しい介護プログラムを設計することが求められる。例えば、

- ①ノルディック・ウォーキング:通常は平滑な歩道で介護に利用されているが、ここでは水深70cmのプールで水中歩行に活用する。溺水しないように肩の位置にエアバッグを装着する。
- ②歩行車:通常は平滑な歩道で介護に利用されるが、ここでは身体の半分程度の浅いプールで浮力を一部利用して、歩行練習に活用する。
- ③車椅子歩行:通常は上記同様の浮力を活用して、体重を半ば浮力に活用して歩行訓練を行う。
- ④電動車椅子:電動車の特性を活かして多少遠出したり、緩い上り坂を登って爽快感を獲得する。
- ⑤エアバッグ体験
- ⑥太極拳:太極拳は色々な訓練に利用されてるが、得意の体幹を鍛えることに注力したい。
- ⑦ヨガ体験:昨年、笑いヨガの体験会を開催し、好評であったので、今年も練習を続けたいものである。

このように安全と安心を維持しながら、日常生活に新しい介助運動を取り入れて多様性を増しておきたいと考えている。

*出典:村田編著「やさしいパーキンソン病の自己管理 改訂3版」医薬ジャーナル社